



自衛隊栃木地方協力本部

宇都宮短期大学附属高等学校においてスマートハート支援 ～「凜とした心」を育む～

自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 古川3陸佐）は、8月28日（水）宇都宮短期大学附属高等学校で行われたスマートハートを支援した。

スマートハートとは、自衛隊が持つ発声方法などのノウハウを就職面接に活かせないかと高校からの依頼を受け、「凜とした心を育む」授業として計画し、平成25年から希望する高校で行われているもの。社会人としてのマナーとコミュニケーション能力向上を支援することにより学校との信頼関係を築くとともに、自衛隊への理解を深めることを目的としている。同高校では毎年、調理科と情報商業科を対象に実施しており、生徒と直接対話できる絶好の機会となっている。

参加者85名が8班に分かれて基本動作・号令を発する実習をしっかりと行い、次に面接対応として入退室と自己紹介の実習を行った。各班担当自衛官が、和気あいあいと生徒に寄り添った指導を行い「発声やお辞儀の角度などが身について気持ち前向きになった」「面接の受け答えや自分をアピールすることが大切だと学んだ」などの感想をもらった。また、見違えるような生徒の生き生きとした動作に先生方も感動していた。最後に全員が集まり、広報官が面接実習の良い例、悪い例を巧みな演技で披露し大いに盛り上がった。

宇都宮募集案内所は「今後も、学校との信頼関係を強化し連携を図りながら、自衛隊への理解と魅力を発信していく」としている。



自衛隊式基本動作



全員の前で面接実習



面接実習

栃木県立那須清峰高等学校インターンシップ支援

栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井1陸尉）は、9月9日（月）から13日（金）の間、宇都宮駐屯地、北宇都宮駐屯地及び栃木本で行われた栃木県立那須清峰高等学校のインターンシップ（就業体験）支援を実施した。

3日間にわたるインターンシップは、大型トラックの体験試乗や駐屯地食堂での体験喫食、隊員との懇談等盛りだくさんの内容であり、4名の高校生が参加した。

これに先立ち、担当広報官の佐藤1陸曹は、7月29日（月）に参加生徒4名と担当教師に対して同校で事前説明を実施し、初めての顔合わせを行った。緊張気味の佐藤1曹に対し、生徒たちは高校生らしく元気に挨拶をしてくれ、説明にも熱心に耳を傾けていた。

体験当日を迎え、各体験場所への送迎の車内では、集団生活や厳しかった訓練についてなど自衛隊に関する質問や、部活動等の学校生活から私生活までの会話が途切れることなく、各々が楽しく過している様子であった。

それぞれの体験場所において生徒たちは、担当する自衛官の話にしっかりと耳を傾け、関心を持って取り組んでいた。そんな生徒たちの様子を見て、担当広報官の佐藤1曹は「何でもすぐに吸収して行動に移していく若さがとても羨ましく感じた。このような未来を担う青年たちが自衛隊に興味を抱いてくれ、数ある企業等の就業体験から自衛隊を選んでもくれたことは非常に嬉しく思う」と語った。



栃木地方協力本部にて手旗信号体験



大型トラック体験試乗（宇都宮）



隊員と先生との記念写真（北宇都宮）



北宇都宮駐屯地隊員食堂